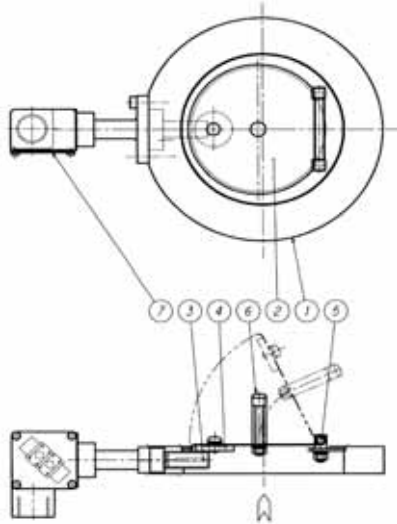


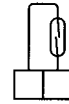
OPERATION MANUAL

SU4-WHR型フロースイッチ



符号	名称	材質	数	
1	ボディ	SUS304	1	
2	フラップ	SUS304	1	
3	リードスイッチ	RS	1	
4	マグネット	フェライト	1	
5	スピンドル	SUS304	1	
6	ストップボルト	SUS303	1	クッション付
7	端子箱	AC2A	1	2P-M3

配線図



定格接点容量

MAX. AC125V/DC100V

MAX. 10VA/W 0.3A(抵抗負荷)

構造：

流路内のフラップが、スピンドルを軸にして流量の増減に応じて Swing し、その先端に組み込まれたマグネットがリードスイッチと遠近することで接点を開閉します。

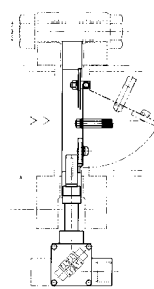
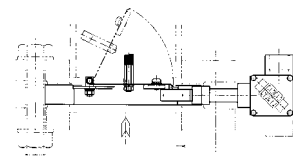
配管：

流れ方向に従って、傾かないように接続して下さい。
水平・垂直(下上)配管はそれぞれ専用の機種がありますので正しく使用して下さい。
配管ワッパに無理な矯正力を加えず正しく接続出来ることを確認してからボルト締めを行って下さい。
(配管センターから本体がズレていると、フラップが配管内面に擦り正常に動作しないことがありますので注意して下さい)

配線：

接点容量以上の負荷を接続しないように注意して下さい。また、突入電流、逆起電圧等も考慮願います。
通電したまま接続作業をしないで下さい。

流れ方向：水平

流れ方向：下上
(型式に-Uが付きます)

性能保証の為、直管部を前後3D確保することを推奨します
逆流させると破損しますので、逆流させないで下さい

スイッチ交換：

万一スイッチを焼損・その他の理由で交換する時には、下記要領にて作業を実施して下さい。

(作業は必ず信号電源を遮断した状態で行って下さい)

リード線を端子台から外し、ターミナルボックスならばカバーを本体から外します。

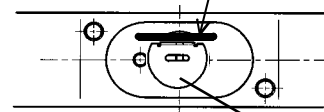
リードスイッチを固定している「押さえ」を外します。

(「押さえ」の方向がスイッチ交換後同一方向になるよう、「押さえ」を外す前にマーキングをしておいて下さい。)

リードスイッチはリード線を手前側で挿入し、しっかりと「押さえ」をビスで固定して下さい。

リードスイッチ交換後、配管上での単体確認は出来ません。実際に流量を流し小流量停止信号が出ているか確認して下さい。

リードスイッチ「押さえ」の位置をマーキングして下さい



リードスイッチ「押さえ」